

# りゅうがく館だより



令和7年 12月号

## 第2回音楽と絵本の世界 in 鹿児島

12月6日(土)りゅうがく館講堂にて、“音楽と絵本の読み語りグループ SORA”主催によります「第2回音楽と絵本の世界 in 鹿児島」が奄美で初めて開催されました。絵本ライブでは、絵本の読み語りに音楽を重ねることで絵本の世界をより深く感じることができました。また、”龍郷町読み聞かせグループ「にじいろの花」と大勝小学校PTA合同による寸劇がありました。町内外、親子連れから高齢者まで約150名のたくさんの方々にご来場していただき、とても盛り上りました。

## 年末年始の休館日のお知らせ

龍郷町生涯学習センターりゅうがく館は、12月26日(金)午後3時から閉館いたします。

新年は、1月5日(月)午前9時より開館いたします。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひいたします。

## 「生涯学習講座」紹介コーナー



### 『新民謡・演歌教室』

講 師：富田 勝己 先生

活動日：第2水曜日 19:00～21:00

奄美の新民謡・演歌を楽しく歌い、歌詞の理解や感情の込め方を学びます。

## おしらせ

図書室で借りた本をお風呂で読むと、湯気で本がふやけてしまい、弁償対象となります。入浴中に読書をされる場合は、図書室の本は避けていただきますようお願いいたします。

## 《一般書》

- ・『自分の機嫌は自分でとる』(東堂 かおり/KADOKAWA)
- ・『カウンセリングとは何か』(東畠 開人/講談社)
- ・『図説日本の洞窟』(狩野 彰宏/朝倉書店)
- ・『野菜のおいしい図鑑』(高畠 健/オレンジページ)
- ・『ニッポンの移民 増え続ける外国人とどう向き合うか』(是川 タ/筑摩書房)
- ・『子どもの「イヤイヤ期」を楽しむ本 教えて! ちえ先生』(池田 千恵/Gakken)
- ・『元力士櫻流絶品ちゃんこ』(櫻 正行/池田書店)
- ・『大人だって、ぬいぐるみに癒やされたい!』(伊庭 和高/PHP研究所)
- ・『本と経営』(前田 政登己/ザメディアジョン)
- ・『かぎ針で編むクリスマスのオーナメント』(アップルミンツ/日本ヴォーグ社)
- ・『オトナ女子の不調をなくす自律神経整え方BOOK』(小林 弘幸/SBクリエイティブ)
- ・『石原家の兄弟』(石原 伸晃他/新潮社)
- ・『女の国会』(新川 帆立/幻冬舎)

他

## 《児童書》

- ・『まほうのるんるんきせつごはん』(まいのおやつ/ KADOKAWA)
- ・『知りたい! 専門学校医療分野 看護・理学療法・歯科衛生・臨床検査など』(山下 久猛/ペリカン社)
- ・『木から家ができるまで 和室はすごい』(モリナガ ヨウ/ ほるぷ出版)
- ・『おばけとしょかん 花子さんをさがせ』(斎藤 洋/講談社)
- ・『クリスマスセブン』(もとした いづみ/世界文化ワンダーグループ)
- ・『サンタさんをつかまえろ』(ジーン・リーガン/理論社)
- ・『農作物のひみつ』(日本作物学会/化学同人)
- ・『かめかめたいそう』(斎藤 模/福音館書店)
- ・『きみのこころをつよくするくちぐせえほん』(斎藤 孝/日本図書センター)
- ・『見つけたら神! すごレア虫図鑑』(篠原 かおり/日本文芸社)
- ・『法律はあなたの味方 人権を守るためのしくみ 1』(山下 敏雅/汐文社)
- ・『聞こえない羽音』(舟崎 泉美/小学館)
- ・『はやくねないとたいへんだ! おやすみなさいの絵本』(サトシン/教育画劇)

他

## 今月のおすすめ本

### 《一般書》

『不確実な時代を生きる武器としての憲法入門』(大城 聰/旬報社)

誰もが一度はどこかで出会う日本国憲法。大地震、カルト宗教、ブラック企業、生成AIなど、身のまわりの問題と深く関わっています。実は「役に立つ」憲法という視点から日本国憲法を学ぶ入門書です。



## 《児童書》

『聞くのが楽しくなる耳のひみつ』(今泉 忠明/創元社)

朝起きてから夜眠っている間も耳はずっと働きっぱなしです。耳のことをもっと知ってみませんか?耳のことを理解すれば、「聞こえる」ことが当たり前ではないとわかるはずです。大人でも十分に発見のある内容になっています。

